

厚生文教常任委員会報告事項資料

資料 番号	資 料 名	所 管 課
1	小田原市立幼稚園の今後の対応について	教育総務課
2	学校給食センター整備事業公募型プロポーザルの審査結果について	学校安全課

令和4年2月21日

小田原市立幼稚園の今後の対応について

1 小田原市立幼稚園の園児数減少への対応指針

市教育委員会では、令和3年（2021年）10月1日に「小田原市立幼稚園の園児数減少への対応指針」を施行し、市立幼稚園の園児数の最低基準を1学年の園児数15人（1園の総園児数30人）と定め、これを下回った場合は、統合・廃止を段階的に進めていくことを前提に、複式学級の実施、翌年度の入園児の募集の停止、休園又は閉園等の対応を検討することとした。

2 市立幼稚園の園児数見込み

幼稚園	定員	令和3年度（2021年度） （5/1現在）			令和4年度（2022年度） （見込み）				比較
		4歳児	5歳児	合計	4歳児	5歳児	合計	定員 充足率	
酒 匂	210人	26人	24人	50人	20人	27人	47人	22%	△3人
東富水	140人	27人	23人	50人	17人	27人	44人	31%	△6人
前 羽	70人	3人	7人	10人	0人	0人	0人	—	△10人
下 中	140人	11人	8人	19人	3人	14人	17人	12%	△2人
矢 作	140人	25人	23人	48人	21人	25人	46人	33%	△2人
報 徳	70人	11人	10人	21人	12人	11人	23人	33%	2人
合 計	770人	103人	95人	198人	73人	104人	177人	23%	△21人

3 最低基準を下回る市立幼稚園の対応

幼稚園	対 応
前 羽	令和4年4月1日から当分の間、休園とする。
下 中	令和4年度は、複式学級（4歳児・5歳児合同）とする。
報 徳	令和4年度は、これまでどおりの園運営を継続する。 保護者や地域関係者等と課題を共有するため、話し合いを行う。

学校給食センター整備事業公募型プロポーザルの審査結果について

老朽化が著しい小田原市学校給食センターの再整備については、令和6年9月(2024年)から給食の提供ができるよう整備事業者を選定する公募型プロポーザルを公告し、「小田原市学校給食センター整備事業者選定委員会」において審査を行った。

1 選定経過

- (1) 令和3年(2021年)9月9日 事業公告(募集開始)
- (2) 令和3年(2021年)11月25日 第1次審査(応募資格の確認)
- (3) 令和4年(2022年)1月7日まで 提案書の提出
- (4) 令和4年(2022年)2月3日 第2次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)

2 審査の結果

項目\事業者	A 共同事業者 瀬戸建設・梓設計・日本調理機共同事業者	B 共同事業者	C 共同事業者 松浦建設・中西製作所・長大共同事業者
総合評価点	320.19点	306.29点	313.82点
提案書評価点	241.57点	226.29点	240.85点
価格点	78.62点	80点	72.97点
結果	優先交渉権者		次点交渉権者

3 優先交渉権者の主な選定理由

- (1) 受け入れやすいデザインの外観が高く評価された。
- (2) 安全でゆとりがある外構計画が高く評価された。
- (3) 調理運営しやすい厨房機器や1階調理エリアの平面計画が評価された。

4 今後のスケジュール

項目\年月	令和4年			令和5年	令和6年
	2月	3月	4月～		
① 結果通知	● 2/10 応募者へ結果通知				
② 結果公表	● 2/21 ホームページに公表				
③ 基本協定締結	➡ ● 2月下旬※優先交渉権者と市要望事項を調整後、基本協定締結				
④ 第I期事業(設計)	3月中旬契約 ●			➡	
⑤ 第II期事業(建設)				6月契約 ●	➡
⑥ 開業準備					➡
⑦ 給食提供開始					9月 ➡

【参考】

A 共同事業体の提案施設概要

敷地面積：4,000.95 m²（小田原市成田 1111 番、1112 番）

● 建築面積：1,724.52 m²（建蔽率 42.29%）

● 延べ面積：2,204.16 m²（容積率 55.09%）

● 1階床面積：1,593.14 m²

● 2階床面積：611.02 m²

● 駐車場：20 台（身障者用含）

● 駐輪場：20 台（屋根付）

● 2階会議室：全体で約 184 m²



外観パース